

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は希望のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清浄で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびのびと、市民の創意で、傳統と開拓のとれた新しい生活がいまづくりをしましょう。

奈良市民だより

No. 358

市民のうごき

12月1日現在(前月比増)

人口	264,494人	(766)
男	128,366	(385)
女	136,128	(381)
世帯数	83,248	(216)

来2月11日 新庁舎落成式挙行



併せて市制80年記念式も

見事全容を現わした新庁舎

12日 市民に新庁舎開放

落成式 平城京復元模型も除幕

「新平城京のまちづくり」の中心になる行政庁舎として、市民希望のうちに昨年八月着工した奈良市役所新庁舎は、新春とともに完成し、来年二月十一日の「建国記念の日」に落成式を挙げる運びになりました。

新築工事はほとんど足場を撤去して、古都にふさわしい輪廓の美しさを現わし、内外装工事の仕上げと建物周辺の

道路・造園・駐車場など外構の仕上げを急いでいます。

またこの新庁舎完成の来年は、奈良市制施行八十周年に当たるので、その記念式典も同日挙行することになっています。

奈良市は、咲く花のにおいがこく天平文化の花を開いてから千二百余年、い

往時に修交の深かった西安や慶州とも再び友好交流を深めています。この意義深い時機に再び平城京の中心地に市役所を移し、新しい市政をすすめるようというの

新市庁舎の落成式は、二月十一日午前九時から完成した新市庁舎で行なわれます。

式には鎌田市長はじめ市民各界代表二百人が出席、また姉妹都市の韓国慶州からは根泰鎮市長、スペイン・トレド市からはア

ンヘル・ビバル・ゴメス市長が祝詞に参する予定です。

落成式は、神事のあと定礎除幕が行なわれ、ついで庁舎・議会議場のテープカット、塔屋につり下げられた「天平の鐘」と支那の噴水のスイッチが入られます。

また一階市民ホール奥の展示室につくられた平城京の千分の一の復元模型の除幕が行なわれます。ついで五階に、奈良市が友好・姉妹都市関係結んでいる中国・西安、韓国・慶州、スペイン・トレドの市名をそのまますてつけた応接室、いわゆる「西安の間」「慶州の間」「トレドの間」の命名とテープカットが行なわれます。

「慶州の間」は、奈良市長「トレドの間」は、ビバル・トレド市長によつてそれぞれ行なわれることになっていました。

なお翌十二日は新庁舎を市民に開放、みなさんに参観してもらい、庁舎への親しみを深めてもらいます。

13・14日に

移転

新市庁舎への移転は落成式後の二月十三日(日)から十四日(月)の両日にかけて行ないます。

80年記念式 中央体育館で

来年二月一日は、奈良市市制が施行されてからちょうど八十年目の記念日を迎えます。

明治三十一年二月、市制第一歩を踏み出した当時の奈良市は人口三万に満た

ず、面積も約二平方キロ、という小さな町にすぎませ

んでしたが、今日では人口約二十七万、面積約二百

二平方キロと約九倍規模の大奈良市に発展しました。

市ではこの礎となった先覚者の偉業をしのびたたえ、とともに、今後の理想都市への発展を願って二月十

月十五日(火)午前九時から行なわれ、この日から新市庁舎での執務が開始され、「新しい奈良のまちづくり」が第一歩を踏み出します。

今の庁舎は文化施設に

跡地利用を

新庁舎に移転したあとの現庁舎跡地利用について、早くから慎重に検討が重ねられていたが、このほどようやくまとまり、十二月定例会に鎌田市長から提案されました。

これによると、本館を市民の文化施設として活用す

るため、一階は市役所連絡所と中央公民館の一部。二階は中央公民館、三階は図書館として利用することになっていました。

中央公民館には多目的ホール、巡回文庫基地、ライブラリー、児童文庫、公民館利用者の幼児預かり所、料理実習室を一階に設

け、二階には大講堂、普通通講堂三、和室遊戯室、観望室、研究室、カウンセラー室のほか展示ホールや公民館事務所を設け、子どもから大人までの学習施設を備えたもので、来年四月一日から開館されます。

図書館には書庫、閲覧室、二、説書指導コーナーのほか大講堂と音楽室を設けます。また蔵書については年次計画をたて、逐次充実をはかっています。

また二万二千冊(専門書、実用書、児童図書)をそなえて、これも来年四月一日に開館します。

生涯教育のまちづくりをめざしてすすめてきた地区公民館建設が一応整備され、ここにその中心となる中央公民館ができることにより、奈良市は全国的に有数の公民館をもつことになり、市の社会教育は大きく前進するばかりでなく、市民希望の図書館もできて、いよいよ日本一生涯教育のまちづくりが達成されることとなります。

12月定例会市議会

奈良市十二月定例会市議会は十二月十日招集されました。

提出案件は、五十年度市

歳入歳出決算の報告と五十年年度市一般会計補正予算は二十議案で、十二月十三日閉会の予定です。

市政二年のあゆみ

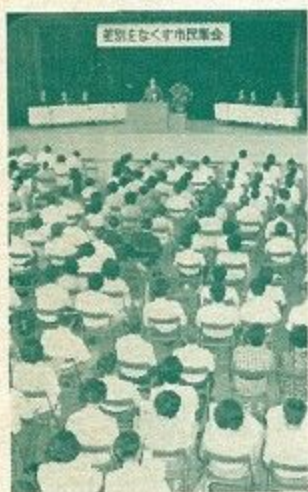
さようなら1976年



西安市友好代表団来寧＝坊やの歓迎にこたえる郷祥不団長（左）と鍵田市長（10月24日）



西安市友好代表団来寧＝佐保幼稚園で園児を抱きあげて友好を深める団員（10月25日）



差別をなくす市民集会（7月15日）



慶州市親善代表団来寧＝「慶州の森」で記念植樹する朴宰煥慶州市長（左）と鍵田市長（6月9日）



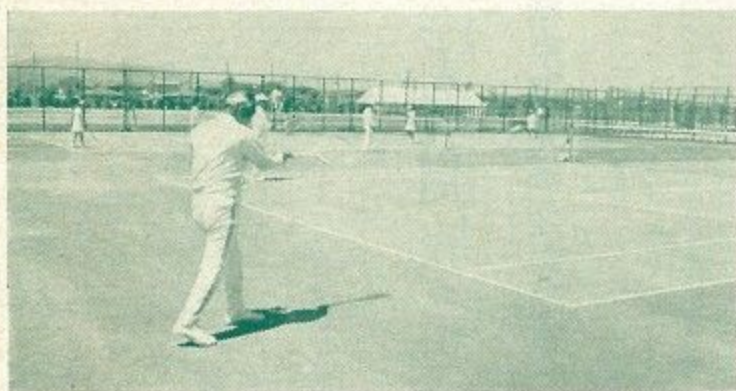
西安市から贈られたタンチョウヅルに命名（3月3日あやめ池動物園で）



ごくろうさん・早寝早起き運動推進大会＝一万二千人も参加（5月23日中央体育館で）



宝蔵院流槍術奈良へ還る＝全日本剣道連盟会長石田和外先生（右）から西川源内氏に伝授（7月8日中央武道場で）



柏木スポーツ公園開園（4月28日）



春日公民館完成（12月17日）



富雄第三小学校完成（4月1日開校）



寝食をともにして研修する「青年の家」完成（12月18日）

とき、来年一月六日、
(木)と七日(金)。▽
行き先、和歌山県日の
岬。宿泊は日の岬ユース
ホステル。▽定員、四十
人。▽会費、中学生四千

行き先〓和歌山県日の
岬。宿泊は日の岬ユース
ホステル。▽定員〓四十
人。▽会費〓中学生四千

とい」をつぎのように聞
ます。参加できるのは市
加入の子ども会員で、

とき 来年一月六日
(木)と七日(金)。▽
行き先 和歌山県日の
岬。宿泊は日の岬ユース
ホステル。▽定員 四十
人。▽会費 中学生四千
五十。参加希望者は十二月
二十五日までに市社会教育
課内、市子連事務局へ申込
んでください。

盆裁同好会は
会費いります
「市民だより」十二月一
日号第四面所載の「老春盆
裁同好会」の記事中、受講
料はいりませんとありますが、会費として二百円だけ
用意してください。

（飛鳥）入江益美・村井敏明（済美）
【中学生】①安河内雅子②川本スミレ、田辺説子③藤森督昌、内田久美子（以上いずれも登美ヶ丘）山中真理子（富雄）
なお優秀作品は十二月十三日から一週間ずつ各公民館で巡回展示されます。

ら「家庭の日」(毎月第二日曜日)を啓発するポスターを募集していました。が、小学生九百六十七点、中学生二百十七点の応募がありました。特選はつぎのとおり。

【小学生】①垣見年昭(飛鳥) ②吉田祥子(済美) 坂根紀子(伏見) ③森兼達也

また、同協会ではこの機会に一人でも多く会員の加盟を呼びかけています。

「家庭の日」
のポスター、

すこやかな青少年は家庭から――市青少年問題協議会では市立の小・中学生が